

# チャンス・チャレンジ・チェンジ

秋田県立支援学校天王みどり学園 加賀谷 勝

## 「楽しい子育てガイド」～おだやかに・くりかえし・いそがない～



「育児の悩みを相談できる相手がいない」、「小学校入学まで必要な力を知りたい」、「発達気になる子どもを担当する保育者の専門性を高めたい」、「子育てに対する保護者と保育者の隔たりを埋めたい」などの声に応えるため、「楽しい子育てガイド」を作成しました。(本校HPからダウンロードできます！)

各市町村で子育てガイドは発行されていますが、活用できる制度や相談機関の紹介が中心であることから、より実践的な内容を盛り込みました。各年齢の子どもの発達と生活習慣の目安をはじめ、園訪問や保護者面談で相談の多い言葉に関すること、子どものほめ方や叱り方、子どもに伝わる具体的な声の掛け方、そして、子育てQ&Aを載せました。ここで、ガイドの一部を紹介します。

### 〈子どもの男女別の話し方〉

- 男の子は「根拠」「具体的」が大切！⇒S（さすが） O（お願い） S（すごい）  
「〇〇くんは、4月に入ったばかりだから一緒に遊んでね」  
「〇〇くん、一人でブロックを片付けたね さすが！」
- 女の子は「情緒」に訴える！⇒A（ありがとう） U（うれしい） T（助かった） O（おかげで）  
「見て、〇〇さん、一人ぼっちで 寂しそうですよ」  
「みんなのためにブロックを片付けてくれて、〇〇さんってやさしいね！」

### 〈子どもに伝えたい三つの言葉〉

- 「ありがとう」
  - 「～してくれてありがとう！」は、相手の存在を認める言葉であり、最高のほめ言葉である。「ありがとう」を言えば、「ありがとう」の気持ちが育つ。子どもにたくさんのありがとうの種をまこう。
- 「ごめんなさい」
  - 誰もが間違っって迷惑をかけたり、失敗したりする。そのときに「ごめんなさい」と素直に謝れることが大切である。また、「ごめんなさい」と言われたときに許せる人に育てることも大切である。子どもは親の少々の失敗は大目に見てくれるので、親も子どもに「ごめんね」と言おう。
- 「大好きだよ」
  - 当たり前にも思っている「大好きだよ」と伝える。子どもは人から好きになってもらって、初めて自分のことを好きになれる。自分のことを好きになってくれる人が多ければ多いほど、自分のことを好きになる。これが自己肯定感を高める。

子育てとは、自分の思うようにならないものと向き合っていくことの連続なので、「失敗はしょうがない」、「子育てが辛いのは決してママのせいではない」、「一人で悩みを抱えこまなくていい」と考えてください。子育てのコツは、「急がず、手を抜かず、そして、子どもを好きでいること」です。本ガイドは就学前の子どもに関わる保護者や保育者が楽しく子育てをしてほしいという願いを込めた一冊です。どうぞ肩の力を抜いてページを開けてください。